



## 海上B/L桁数の35桁運用の実施

2012年6月21日  
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

## B/L番号の35桁運用

B/L番号の桁数について、第6次NACCSでは35桁による運用を実現する。

区分	概要	備考
1. 個別検討事項	B/L番号の35桁運用の実施	
2. 現行仕様	B/L番号 属性：英数字 桁：35 但し、21桁以上入力して送信した場合、エラーとする。	
3. 見直しの経緯 (利用者の要望等)	第5次NACCS更改時に、 <ul style="list-style-type: none"><li>・ B/L番号の桁数不足</li><li>・ 仕分業務後の枝番付与による桁数増加</li></ul> 等の問題を背景として、B/L番号の桁数増加の要望があり、NACCS内部では35桁のフィールドを確保した。 しかしながら、民間システム側の改修（35桁対応）が間に合わない等の理由により、当面は旧仕様である20桁による運用を継続することとしたが、当該運用のまま現在に至っている。	
4. 次期仕様	B/L番号については、35桁による運用とする。	
5. その他		

# 1. 第5次NACCS更改時における要望の背景

B/L番号は、船会社コード4桁、連番12桁、枝番4桁の合計20桁となっているが、番号の中に仕出地や仕向地が含まれることがあり、桁数が足りない。

B/L番号は、仕分けのたびに桁が増える体系なので、現在の桁数では足りない。

第5次NACCS更改時に仕様変更済

B/L番号      ABCD    123456789012    AAAA

船会社コード4桁 + オリジナルB/L番号12桁 + 枝番

A → AA → AAA → AAAA  
B → BA → BAA → BAAA

・開発時の検討では、オリジナルB/L番号が12桁を超えることはなく、仕分けも4段階で十分であったが、現在はオリジナルB/L番号に仕出地等の情報が入っているケースがあり桁数が不足することがある。

## 2. 第5次NACCS更改における桁数増加の仕様検討結果

Sea-NACCSは、ほとんどの貨物関連業務及び申告業務の入出力情報及び貨物情報や申告情報等、基幹業務にB/L番号が含まれており、桁数増加は、オンライン業務全般への影響がある。また、管理資料についても大きな影響がある。

### オンライン業務

入出力情報

貨物業務、輸入申告業務の殆どにB/L番号が含まれる

ファイル

貨物情報、コンテナ情報、申告情報、保税運送申告情報等NACCSの基幹となるファイルにB/L番号が設定される

- ・ 殆どの貨物業務、申告業務の入出力情報の変更が必要
- ・ ファイル桁数変更に伴い、殆どの貨物業務、輸出入申告業務の変更が必要
- ・ 入出港業務への影響はない

### 管理資料業務

入出力情報

貨物関連、民間用申告関連の明細情報の殆どにB/L番号が含まれる

ファイル

貨物ファイル、コンテナファイル、申告ファイル等を使用する処理がある

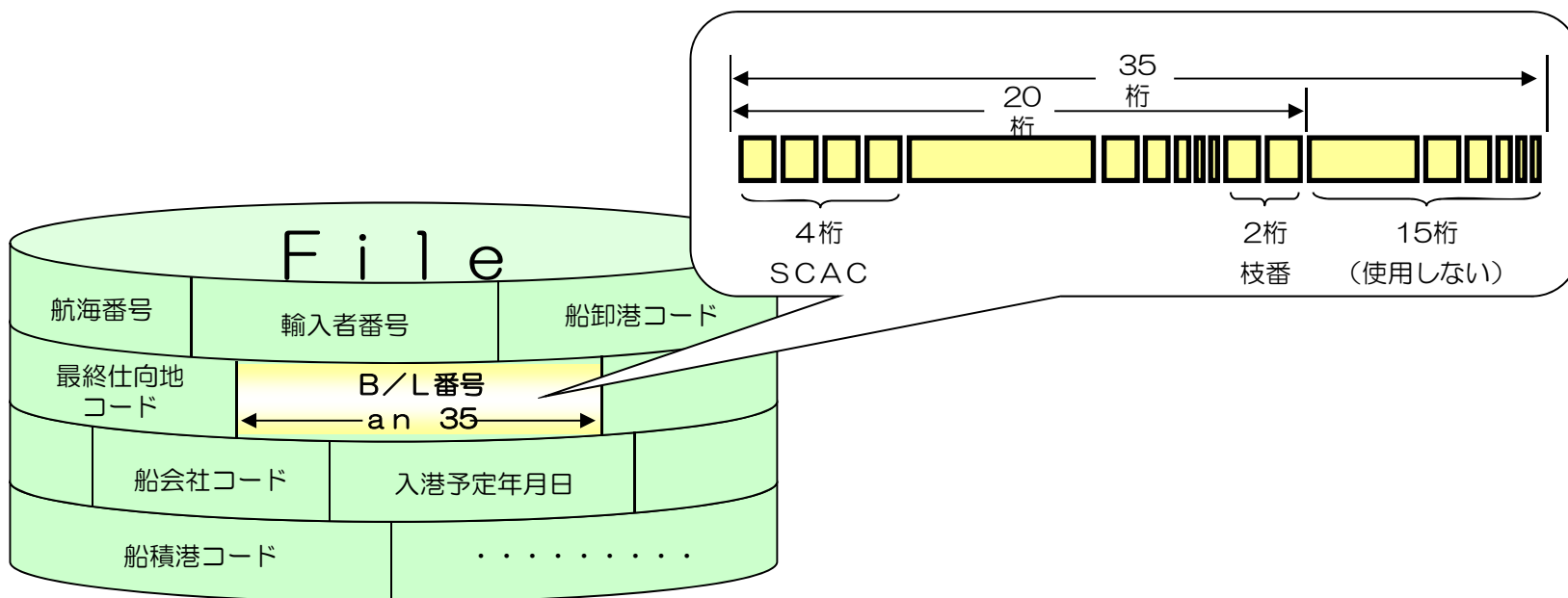
- ・ B/L番号を含む出力情報の変更が必要（貨物や申告関連明細データ）  
ex) 統計用仮陸揚データ、輸入申告一覧データ 等
- ・ B/L番号を含むオンラインファイルを使用する処理の変更が必要（トラン作成メイン処理等）

検討の結果、入出力情報の変更範囲が大きいことから、NACCSとEDI接続を行っている社や民間システムへの影響を考慮し、第5次更改時はNACCSのシステム内部において35桁のフィールドを確保し、各社の状況が整い次第に35桁化することとした。

### 3. 現行（第5次NACCS）の仕様及び次期（第6次NACCS）の仕様案

#### 現行仕様

B/L番号の桁数をシステム内部ではUN/EDIFACTの桁数である35桁を確保し、国際標準化としたが、民間利用者の社内システム等の対応が完了しておらず、20桁以内の運用を維持している。



#### 次期仕様

入港24時間前の事前報告制度といった新たな制度に対応するには、現行の20桁での運用は難しい。また、システム内部では既に35桁を確保していることから、次期（第6次）更改と同時に35桁化の運用を開始する。